2026年10月3日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
8,638万kW
18時、86,376 MW（10エリア同時刻合計）

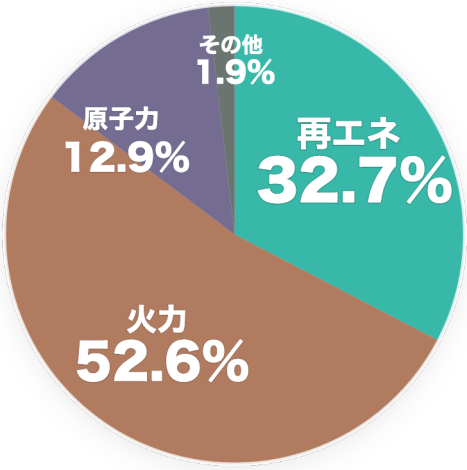
☀ 太陽光ピーク
4,797万kW
11時、47,972 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
225万kW
0時30分、2,254 MW

◇ 再エネ最大需要比
68.2%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
115 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
104 GWh



概況

再エネ比率トップ

中部 45.3%

109 GWh

出力抑制量

22.5 GWh

最大: 東北 10.9 GWh

揚水・蓄電の充電

73.9 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、12:00に2,814万kWでした。
- 再エネ比率は中部が最も高く、発電電力量ベースで45.3%でした。
- 出力抑制は北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**32.7%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**632 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**1,936 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**68.2%**	12時
出力抑制量	**22.5 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**73.9 GWh**	発電構成比には含めない

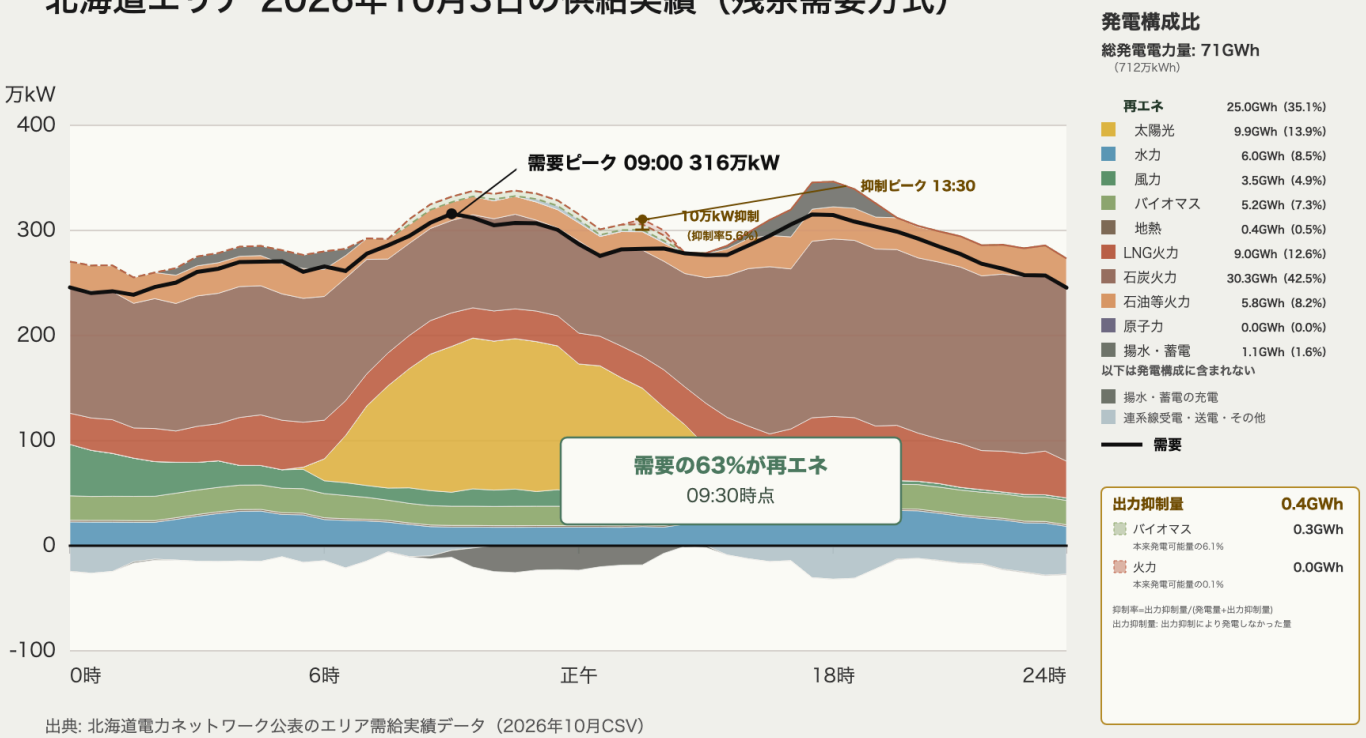
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**35.1%**	**25.0**	**0.4**	**送電 3.0**
東北	**35.4%**	**98.2**	**10.9**	**送電 104**
東京	**26.7%**	**136**	**1.2**	**受電 115**
中部	**45.3%**	**109**	**0.5**	**受電 55.0**
北陸	**40.9%**	**26.2**	**0.7**	**送電 7.6**
関西	**29.0%**	**78.3**	**0.1**	**受電 44.1**
中国	**28.3%**	**47.6**	**3.0**	**送電 30.5**
四国	**28.5%**	**25.8**	**1.1**	**送電 36.1**
九州	**38.1%**	**83.6**	**4.6**	**送電 12.6**
沖縄	**10.2%**	**2.7**	**0.0**	—

2026年10月3日の供給実績

北海道エリア

再エネ
25.0GWh
（発電電力量ベース35.1%）

北海道エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
71.2GWh

需要ピーク
09:00、316万kW

連系線・その他
3.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.1GWh

出力抑制
0.4GWh

概況

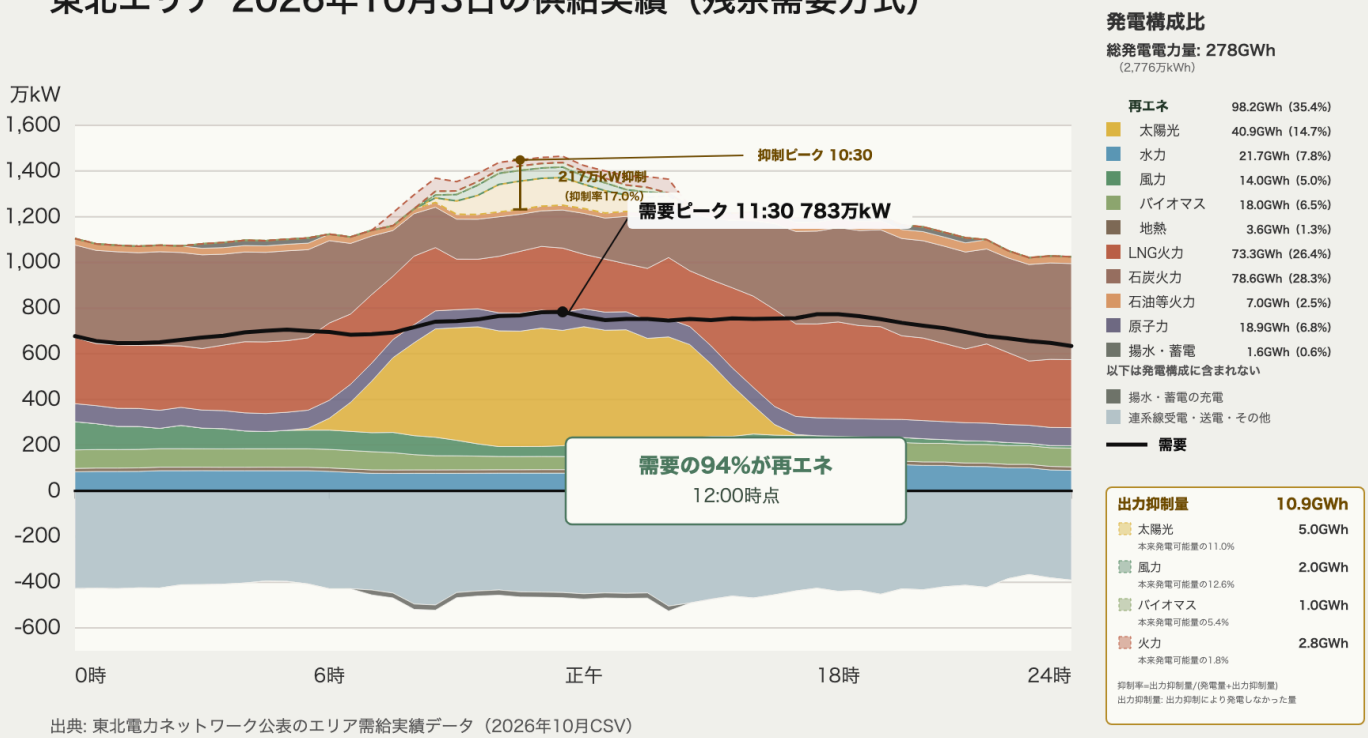
北海道は、太陽光ピーク144万kW、風力ピーク49万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.2%だった。

2026年10月3日の供給実績

東北エリア

再エネ
98.2GWh
（発電電力量ベース35.4%）

東北エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
277.6GWh

需要ピーク
11:30、783万kW

連系線・その他
104.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.7GWh

出力抑制
10.9GWh

概況

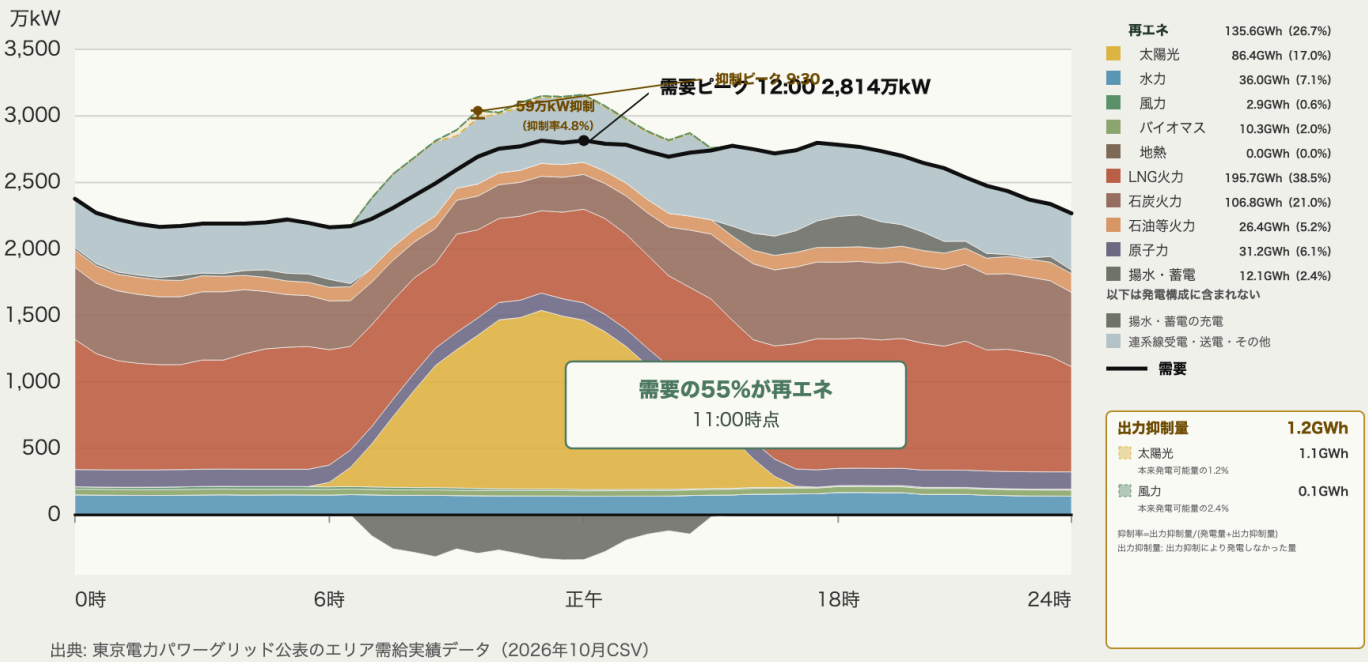
東北は、太陽光ピーク518万kW、風力ピーク124万kWで、時間別の再エネ最大需要比は96.1%だった。

2026年10月3日の供給実績

東京エリア

再エネ
135.6GWh
（発電電力量ベース26.7%）

東京エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
507.8GWh

需要ピーク
12:00、2,814万kW

連系線・その他
114.6GWhの受電

揚水・蓄電の充電
19.9GWh

出力抑制
1.2GWh

概況

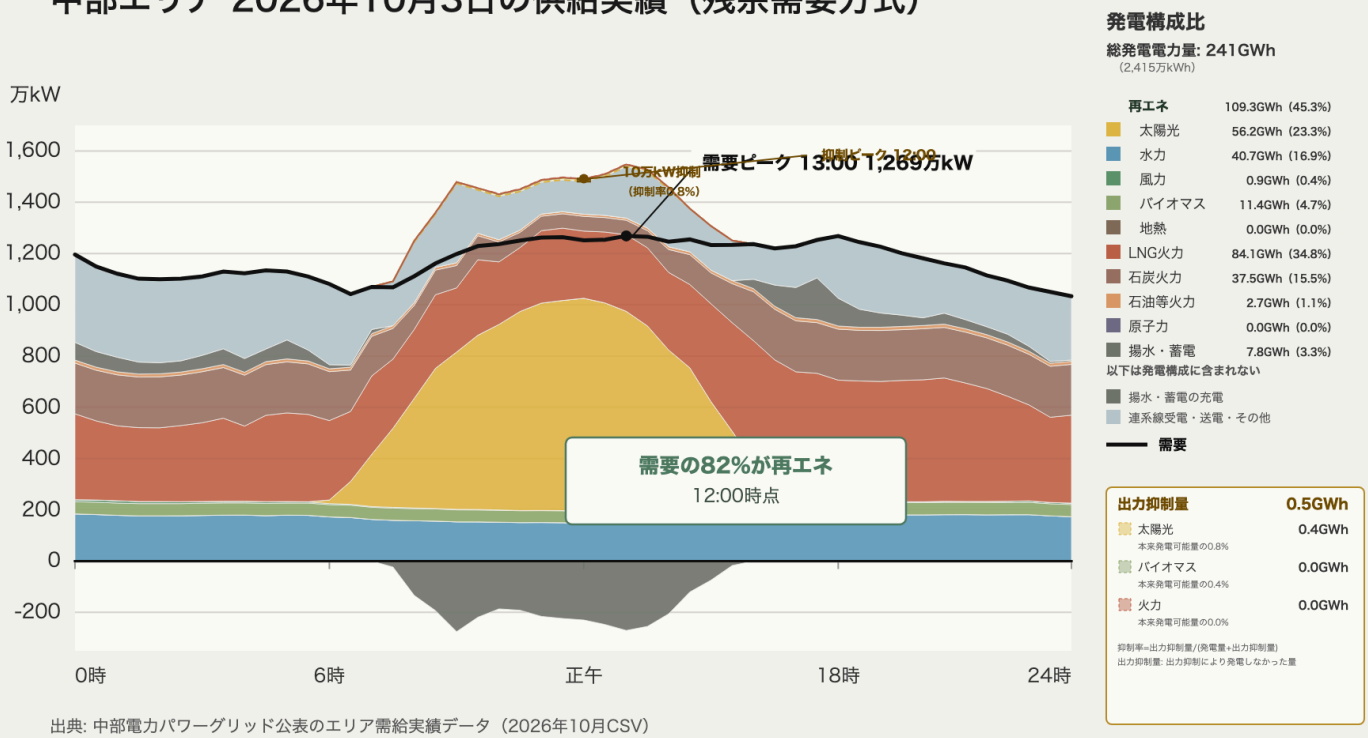
東京は、太陽光ピーク1,343万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は54.7%だった。

2026年10月3日の供給実績

中部エリア

再エネ
109.3GWh
（発電電力量ベース45.3%）

中部エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
241.4GWh

需要ピーク
13:00、1,269万kW

連系線・その他
55.0GWhの受電

揚水・蓄電の充電
15.4GWh

出力抑制
0.5GWh

概況

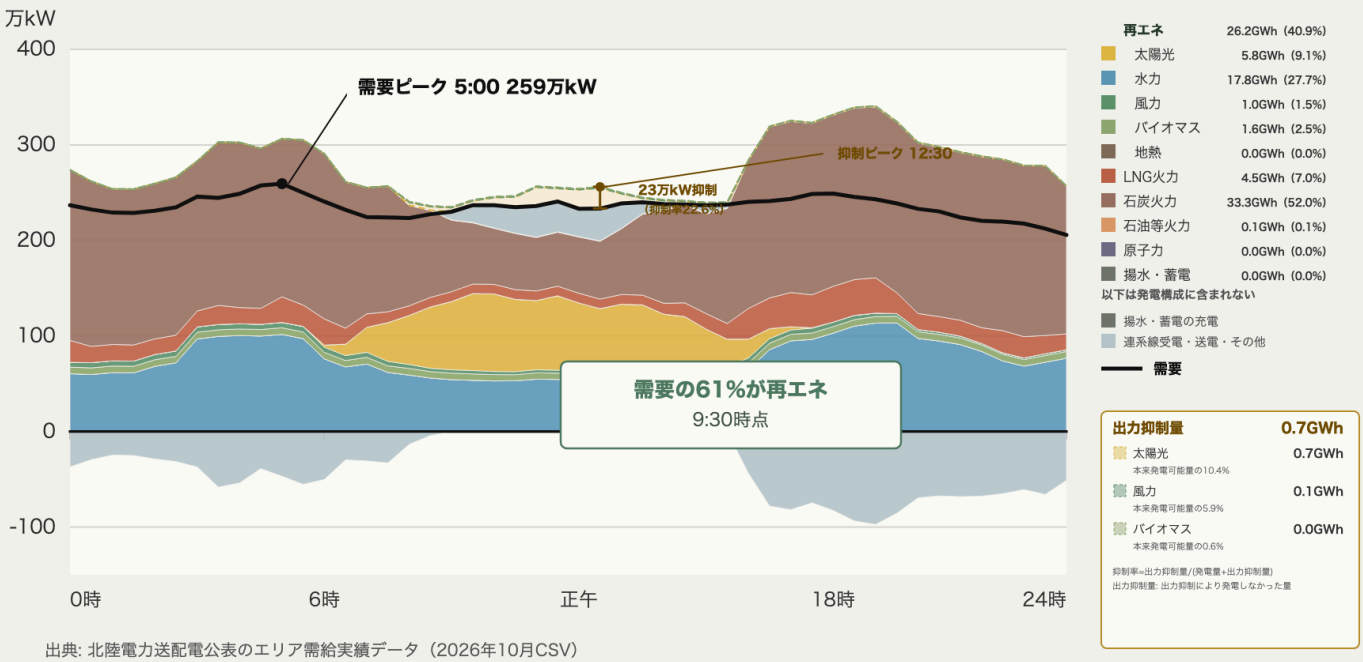
中部は、太陽光ピーク832万kW、風力ピーク9万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.9%だった。

2026年10月3日の供給実績

北陸エリア

再エネ
26.2GWh
（発電電力量ベース40.9%）

北陸エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
64.1GWh

需要ピーク
5:00、259万kW

連系線・その他
8.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.7GWh

概況

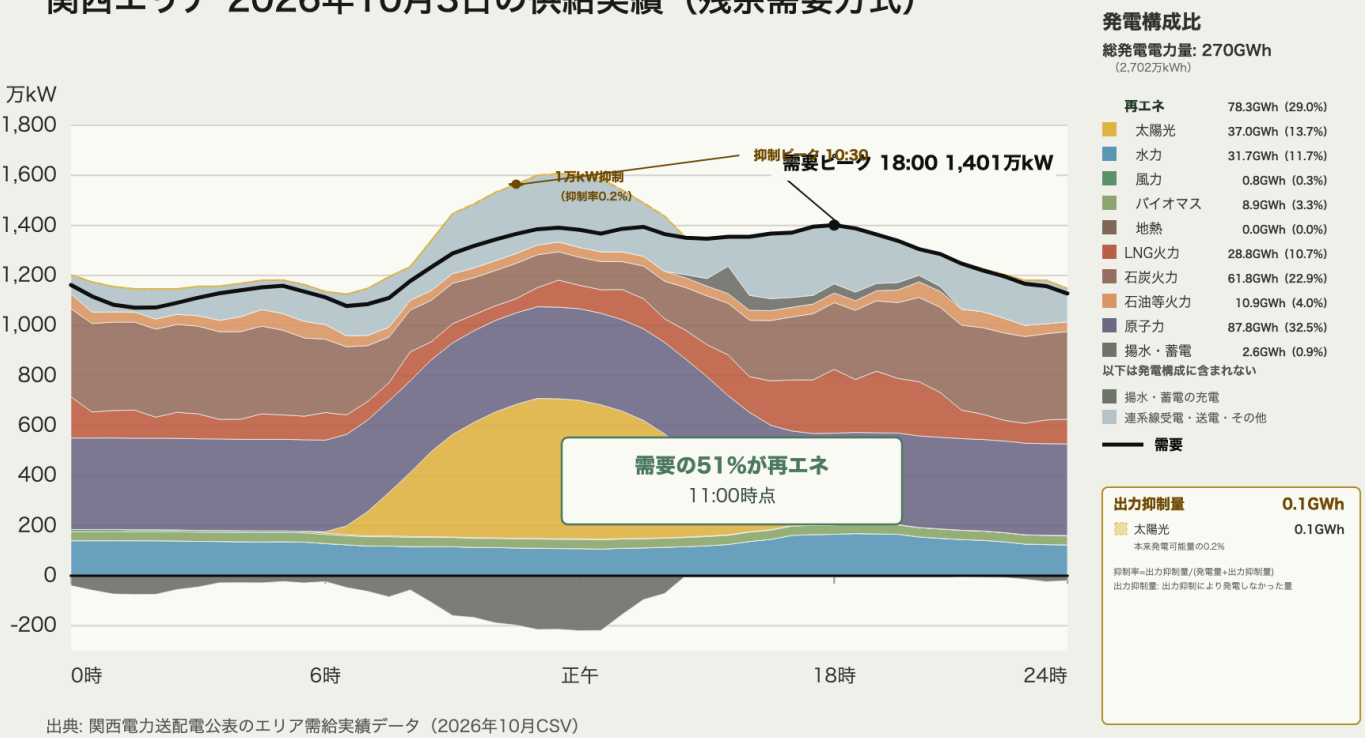
北陸は、太陽光ピーク81万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.0%だった。

2026年10月3日の供給実績

関西エリア

再エネ
78.3GWh
（発電電力量ベース29.0%）

関西エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
270.2GWh

需要ピーク
18:00、1,401万kW

連系線・その他
44.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.6GWh

出力抑制
0.1GWh

概況

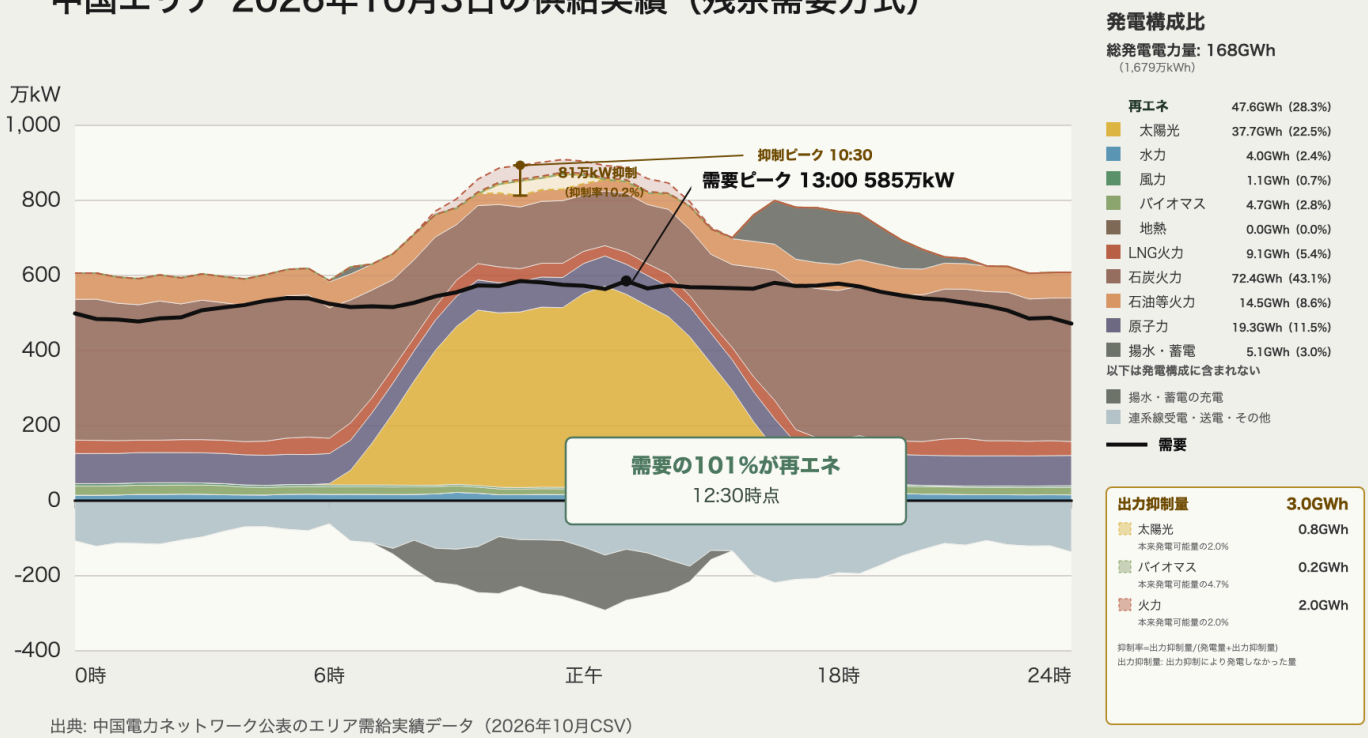
関西は、太陽光ピーク560万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は51.2%だった。

2026年10月3日の供給実績

中国エリア

再エネ
47.6GWh
（発電電力量ベース28.3%）

中国エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
167.9GWh

需要ピーク
13:00、585万kW

連系線・その他
30.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
8.3GWh

出力抑制
3.0GWh

概況

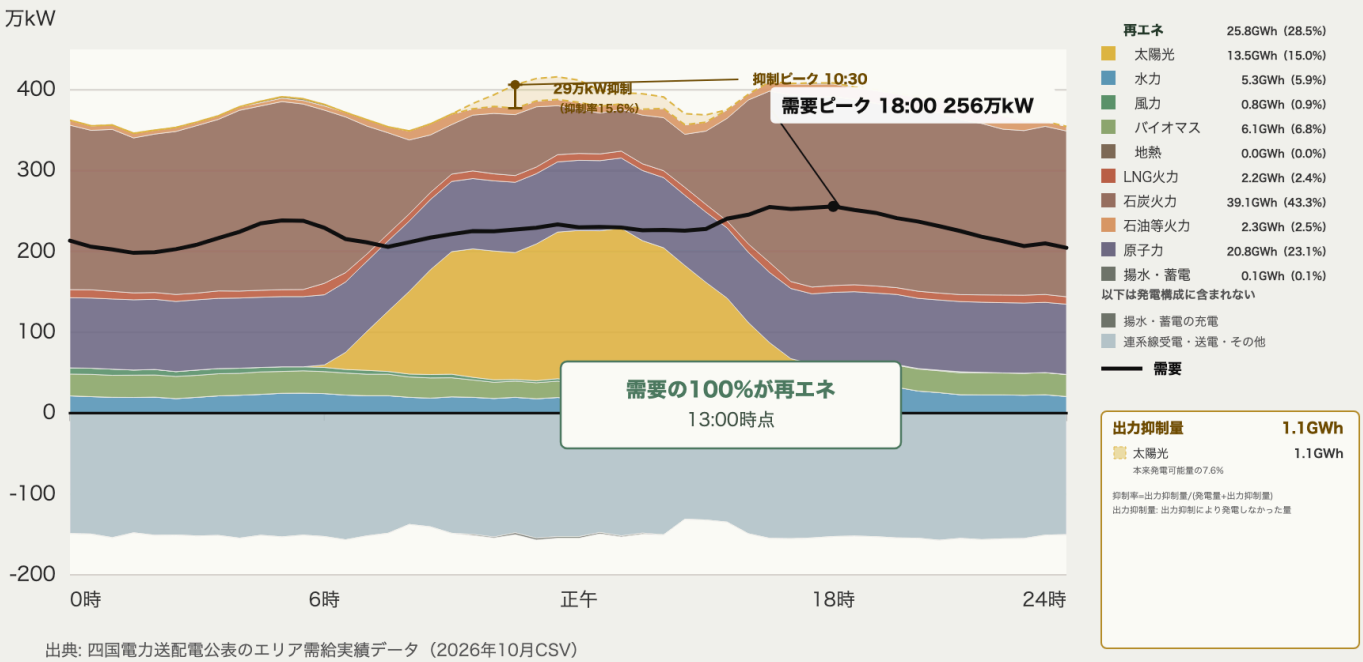
中国は、太陽光ピーク534万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は101.4%だった。

2026年10月3日の供給実績

四国エリア

再エネ
25.8GWh
（発電電力量ベース28.5%）

四国エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
90.3GWh

需要ピーク
18:00、256万kW

連系線・その他
36.1GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.1GWh

出力抑制
1.1GWh

概況

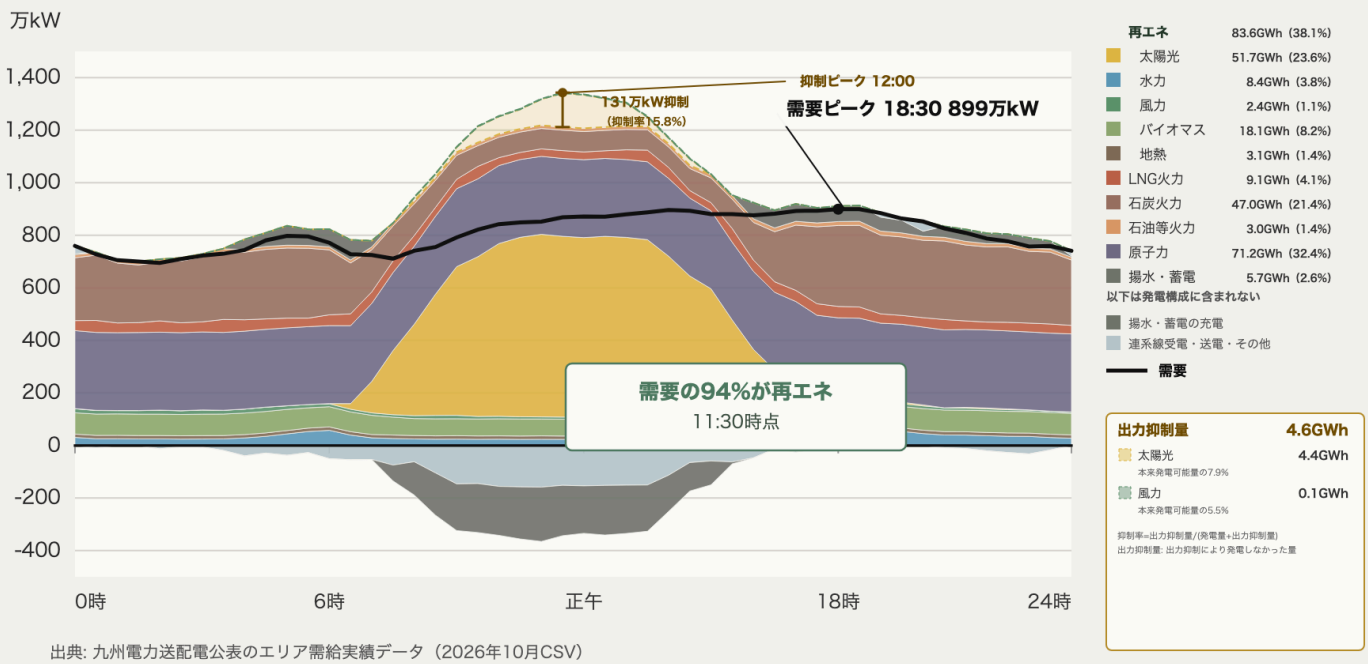
四国は、太陽光ピーク188万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は99.7%だった。

2026年10月3日の供給実績

九州エリア

再エネ
83.6GWh
（発電電力量ベース38.1%）

九州エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
219.5GWh

需要ピーク
18:30、899万kW

連系線・その他
13.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
12.8GWh

出力抑制
4.6GWh

概況

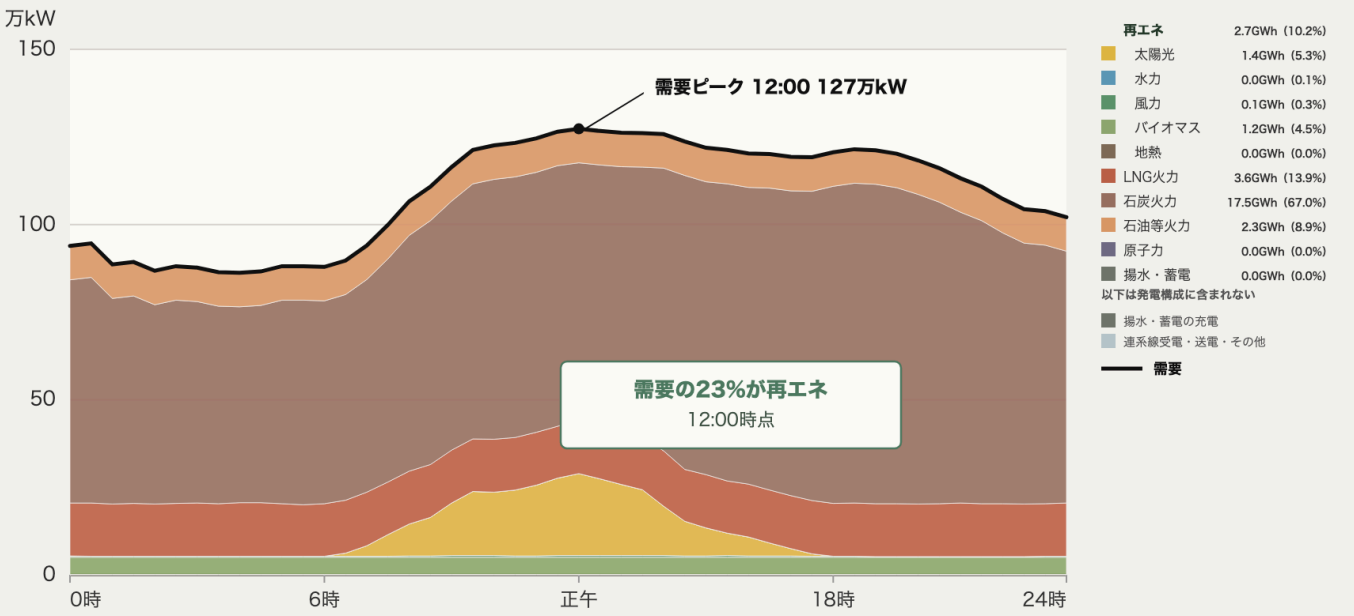
九州は、太陽光ピーク695万kW、風力ピーク16万kWで、時間別の再エネ最大需要比は94.3%だった。

2026年10月3日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.7GWh
（発電電力量ベース10.2%）

沖縄エリア 2026年10月3日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
26.1GWh

需要ピーク
12:00、127万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク23万kW、風力ピーク0万kWで、時間別の再エネ最大需要比は22.7%だった。